



老人保健施設 サンタマリアニュース 20周年特大号

第11号

発行日：2010年5月
発行責任者：永井 敏也
発行者：広報委員会

シスターのこぼれ

もう何年前になるだろうか。仕事について駆け出しの頃、春の日差しに輝いている新芽を生垣に見出し、息を呑むようにして見とれ、自分を越える何かに触れたのを昨日のように思い出している。

聖書に見る復活物語の中で、死と生に触れる場面がある。イエスは十字架上で3時間ほど苦しんで亡くなりました。その時、「わが神、わが神どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」しかし、何の慰めもなく、心身ともに深い憂いのどん底に落ちていたのです。しかし、イエスが息を引き取られてから、「まことにこの人は神の子であった」と告白したのはイエスの近く正面に立っていたローマ軍の百人隊長でした。十字架上のイエスの最期の言葉は、自分を見捨てたかのように見える神への呼びかけです。「父よ、わたしの霊をみ手に委ねます」。全く見捨てられたように感じても、イエスにとって御父は、「わが神」なのです。



イエスの死から三日目の日曜日の明け方に婦人たちがイエスの墓に出かけました。そこには、納めたはずの遺体はなく、途方にくれていました。突然、天使の声が響きました。

「なぜ、あなたがたは、生きている方を死人の中に捜すのですか。その方はここにおられません。復活なさったのです。」

イエスの復活は、イエス自身のためだけのものではありません。イエスの死が愛ゆえの死だったのと同様にその復活も愛ゆえの復活でした。パウロも、「イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちを正しい者とするために復活させられた」（ローマ4.25）と書いています。イエスは神のふところに入ったといっても、この世との関係を断って遠く離れたところへいかれたわけではありません。すでに最後の晩さんでイエスは「わたしは去っていくが、また戻ってくる。」と言っておられます。行って戻る、いな、戻るためにいくのです。復活したイエスは、私たちと共に世の終わりまでおられるのです。

死んで復活した御独り子において、私たちも皆、神の子とされたのです。

「愛といのち」ベトロ・ネメシエギ からの抜粋

カトリック社会事業家族相談室 シスター 高橋 順子

老人保健施設 サンタ マリア 創立20周年にあたって



名古屋市昭和区にある聖霊病院は、小高い山地にところせましと徐々に少しずつ増築され、まったく余地のない継ぎ足しだらけの建物でしたから、私共社会福祉法人聖霊会が、高齢者のための施設を運営するということは、まったく考えられてもおりませんでした。

高齢、少子化がすすみ、戦中、戦後と苦しい時代を日本の国の再建のために尽力された方々への対応にはまったく無力でした。

丁度その頃（昭和61年）、三田保之助様から聖霊病院に、高齢者のために役立てていただきたいとのご意向で、思いがけない土地寄付のお話がありました。

社会福祉法人聖霊会として種々検討の結果、当時政策の一つとして俎上にあつた老人保健施設の開設を計画しました。

寄付者のご意向にも添い、時代の要請にも応え得る事業として入所者100床の施設を計画し、近隣の医師会等のご理解をいただくべく、シスター折重理事長、伊藤一司聖霊病院院長他2、3名で説明に上がったのですが、まったく新しい種類の施設であったためか、なかなかご理解、ご承諾をいただけず、ようやく60床の施設としてということで、平成3年3月完成を目指して工事にとりかかることができました。

平成3年4月8日開設以来「愛と奉仕」のモットーのもとに、職員の誠心誠意と愛をこめた看護、介護に入所者の方々にご満足いただくことができ、平成9年には40床増床工事が完成し、現在では入所100床、通所23名の方々にご利用いただいております。

この20年のあゆみの、大小さまざまな稔りは、この施設を愛し育ててくださいました入所、通所ご利用の方々ははじめ、ご家族の方々、地域の方々のご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げますとともに、これからの歩みへのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 聖霊会 理事長 川原 恵



敷地祝福式（平成元年2月2日）

老人保健施設サンタマリア開設20周年によせて



平成3年4月に社会福祉法人聖霊会により設立された老人保健施設サンタマリアは皆様のおかげをもちまして設立20周年を迎える年となりました。この間、初代施設長三田一幸先生、二代目伊藤一司先生、三代目上杉もと先生そして四代目として、平成17年4月より私が就任し、現在に至っております。

今さら説明する必要もないと思いますが、我国の人口構成は世界でも類を見ない速さで少子高齢化が進行しています。これに対応するために平成12年4月より介護保険制度がスタートし、今年で10年となります。老人保健施設サンタマリアはこの介護保険対応の中間施設であります。これまでこの介護保険制度の中で、ご利用いただける高齢者やそのご

家族のニーズにお応えするため、リハビリテーションの充実や認知症高齢者のケア等真剣に取り組んでまいりました。しかしこの介護保険制度の度重なる改正、介護報酬の減額等による経営状況の悪化、それに介護労働人材確保の困難さ等、サンタマリアを取り巻く環境は益々厳しくなっています。このような諸問題は、サンタマリアだけで解決できる問題ではなく、我国の社会保障制度全体の問題でもあります。それでもサンタマリアとしては今後も一層地域に密着して、ご利用いただく高齢者及びそのご家族のご希望に対応出来る様、これから先の10年後、20年後に向かって努力を続けていこうと考えています。今後とも宜しくお願い致します。

施設長 永井敏也



サンタマリアが開設20周年を迎えることができたのも、偏に、サンタマリアを愛用して下さる皆様のお陰であることの感謝の気持ちを忘れずに、これからもご利用の皆様へ愛される施設としてあり続けるよう精進してまいります。どうぞ、今後ともよろしく願い申し上げます。

事務長 韓 宗勲



平成3年4月8日に開設致しましたサンタマリアも多くの方々へ支えられながら今年で20周年を迎えることができました。深く感謝しております。社会情勢や介護保険制度により施設の状況も大きく様変わりしておりますが、老人保健施設・聖霊会の理念の下、地域や社会の中の役割をしっかりと捉え、個々のケアの質を高められるよう、これまでの経験を生かしながら努力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

看護介護管理師長 宮崎真知子

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタ マリア あゆみ (聖霊病院略)

1945年(昭和20年)	10月29日	宗教法人カトリック聖霊奉侍布教修道女会 聖霊診療所 開設 名古屋市昭和区萩原町四丁目 開設者 シスタ・エデルトルダ・クロイツ (初代理事長) 開設協力者 シスタ・ヴィクベルティス・ラインウエベル 宗教法人責任者 シスタ・エデルトルダ・クロイツ
1947年(昭和22年)	11月13日	宗教法人聖霊病院 開設 (30床) 昭和区川名山町56
	11月19日	現在地に木造本館落成
1950年(昭和25年)	11月11日	財団法人 聖霊会 設立 理事長 シスタ・エデルトルダ・クロイツ 就任(～昭和37年6月)
1952年(昭和27年)	5月30日	社会福祉法人 聖霊会 設立 (財団法人から組織変更)
1953年(昭和28年)	4月1日	聖霊病院付属看護婦養成所設置 (看護専門学校に発展)
1957年(昭和32年)	11月19日	総合病院認可
1962年(昭和37年)	6月	理事長交替 第二代 シスタ・トマ・テレン 就任(～昭和46年10月)
1971年(昭和46年)	10月15日	理事長交替 第三代 シスタ・折重菊代(平成4年6月)
1975年(昭和50年)	10月29日	聖霊病院創立30周年記念
1987年(昭和62年)	1月30日	三田保之助氏より畑地 5,120㎡寄贈される 名古屋市天白区天白町大字植田鴻ノ巣11番124 土地区画整理後(平成8年10月11日) 名古屋市天白区鴻ノ巣一丁目1101番 宅地 1,972.31㎡ 名古屋市天白区鴻ノ巣一丁目1108番 宅地 903.79㎡
1989年(平成1年)	11月3日	聖霊奉侍布教修道女会創立100周年記念
1990年(平成2年)	9月8日	老人保健施設 サンタ マリア 定礎式
1991年(平成3年)	4月8日	老人保健施設 サンタ マリア開設(60床) 通所(定員10名) 初代 施設長 三田一幸 就任(～平成7年11月)
1992年(平成4年)	6月18日	理事長交替 第四代 シスタ・川原 恵 就任
1996年(平成8年)	1月1日	老人保健施設 サンタ マリア 第二代 施設長 伊藤一司 就任(～平成13年10月)
1997年(平成9年)	8月13日	老人保健施設 サンタ マリア 増床工事開始(40床)
	9月12日	介護保険法 成立
1998年(平成10年)	3月11日	老人保健施設 サンタ マリア 増改築竣工式(100床) 通所(定員20名)
1999年(平成11年)	11月1日	聖霊居宅介護支援事業所 開設 初代所長 シスタ・西村千鶴子 就任(～平成17年3月)
	12月4日	介護保険制度 老人保健施設 サンタ マリア に適応開始
2002年(平成14年)	1月11日	老人保健施設 サンタ マリア 第三代 施設長 シスタ・上杉もと 就任(～平成17年3月)
2004年(平成16年)	3月6日	聖霊病院付属看護専門学校第36回卒業式、閉校式、創立50周年記念
2005年(平成17年)	2月22日	聖霊病院 新改築事業起工祝福式
	4月1日	老人保健施設 サンタ マリア 施設長交替 第四代 永井敏也 就任
	11月1日	聖霊居宅介護支援事業所 第二代 所長 韓 宗勲 就任
2007年(平成19年)	4月1日	老人保健施設 サンタ マリア 通所(定員23名)
2009年(平成21年)	10月17日	聖霊病院 新改築事業竣工記念式



三田保之助氏



開設当時の職員 (平成3年4月1日)

写真で見るサンタマリアの歴史

竣工式での感謝状の贈呈(平成3年4月1日)



マリア像寄贈ミサ(2階レクリエーションルーム)(平成4年8月)



増築前は駐車場で夏祭りを開催していました(平成7年7月)



利用者様とさつま芋の収穫(中庭の畑で)

バスでの一泊旅行(平成5年7月13日)



利用者様の指導のもとお彼岸のおはぎ作り(平成5年3月)

開設当初は利用者様が中庭の草取りをして下さいました(平成5年)



介護保険法施行前は「サンタマ号」で旅行に出掛けていました



シスタのはた織り教室(平成4年)

増改築工事 祝福式(平成9年)



増築後、現在のデイルームになりました(平成10年)



←20年前の屋上からの風景

現在の風景



サンタマリアを取り巻く環境も大きく変わりました

最近の行事報告

月	主な行事
2009年10月	みそのラファエル幼稚園児慰問運動会
2009年11月	みそのラファエル幼稚園児慰問
2009年12月	クリスマス会(入所、通所リハビリ) ボランティア感謝式 クリスマス・ミサ
2010年1月	施設祝福式 歌の慰問
2010年2月	節分豆まき 植田北小学校交流見学会
2010年3月	BLS講習会 インドネシア舞踊 防災訓練
2010年4月	通所リハビリ花見、お花見、 復活祭ミサ



クリスマス・ミサ (2009年12月16日 水曜日)

クリスマスを祝うミサが行われ、利用者様手作りのクリスマス・カードを奉納していただきました。利用者様には司祭様からクリスマス・クッキーが配られました。

今後の行事予定

月	主な行事予定
2010年5月	外出レクリエーション
2010年6月	慰問
2010年7月	外出レクリエーション(通所リハビリ) 夏祭り
2010年8月	サンタマリア祭ミサ
2010年9月	長寿を祝う会



運動会 (2009年10月14日 水曜日)

今年もサンタマリア大運動会が行われました。毎年恒例の「玉入れ」「パン食い競争」のほかに「ボーリング」「なんちゃって綱引き」など新しい種目も加わり白熱した競技が繰り広げられました。もちろん職員も障害物競走も！！本人は真剣、応援席は大爆笑、大盛り上がりでした。

優良勤労障害者表彰



平成21年12月17日
「平成21年度障害者雇用促進トップセミナー」会場にて、当施設の管財職員 御村真が社団法人愛知県雇用開発協会より『優良勤労障害者』の表彰を受けました。

平成22年度 新入職員



平成22年4月1日 フレッシュな5人の新人が入職しました。向かって左から
介護福祉士、介護福祉士、介護福祉士、
言語聴覚士、理学療法士

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア
名古屋市天白区鴻の巣1-1101
電話 052(803)3611
FAX 052(803)7435
Email: info@santamaria.or.jp
ホームページhttp://www.santamaria.or.jp
次回発行予定 平成22年10月